

代表者会議

2017 年 5 月 20 日(土) 8 時 20 分～8 時 50 分

【場所】選手招集所

●チーム代表者会議次第

受付、配布物

代表者会議次第、大会プログラム(1選手1部)、スタートリスト(1チーム1部)、その他

◆今後も引き続き、エントリー締切りまでの会員登録および資格取得等、大会規定の遵守をお願いいたします。

1. 主催者挨拶

挨拶(実行委員会関係者)

2. 大会運営、競技、会場における確認事項

<大会運営>

- 1) 開会式は、チームユニフォームを着用の上、選手宣誓者はプールサイドへ午前 8 時 45 分までに集合し、それ以外の選手は観覧席に午前 8 時 55 分までに着席すること。
- 2) 閉会式は、チームユニフォームを着用の上、表彰される選手、チームを除き観覧席に着席すること。
- 3) 表彰式は、大会 1 日目、大会 2 日目の両日とも行います。 表彰される選手は、各表彰式 15 分前に表彰台を背に左側部分のプールサイドに集合すること。また、表彰式では、チームユニフォームを着用すること。
- 4) タイムテーブルについて、再度確認をすること。今後変更が生じた場合、随時会場アナウンスにて連絡する。
- 5) 選手宣誓およびオフィシャル宣誓
選手宣誓：()
オフィシャル宣誓：()
- 6) 撮影規制については 2 次要項に記載の通りとする。
- 7) ゴミは各自、各チームにて持ち帰り処理すること。
- 8) ロッカーは使用できないので更衣室やプールサイドには放置せず観覧席で管理すること。選手は 1 階の更衣室で着替えをすること。
- 9) プールサイド、更衣室、選手招集室は土足禁止です。各自バッグやビニール袋に入れて自己管理すること。
- 10) 電光掲示板に記されるライフセービング競技種目名について、競泳システムを採用しているため、実際の種目名と異なることがあります。

<競 技>

- 1) 「競技規則 2016 年版」に則って競技を行う。
- 2) レスキューチューブの扱い方について
レスキューチューブを付けてスタートする場合の規則は、次の通りとする。
「レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない」
- 3) 「100m マネキン・ウイズフィン男・女」「200m スーパーライフセーバー男・女」競技について
2016 版競技規則 第 3 章 プール競技総則
7. マネキン・ハンドラー
(2) スタート前および競技中、マネキン・ハンドラーはマネキンをレーン内のプールの壁に向かって垂直に保持する
- 4) 「シミュレーテッド・エマージェンシー・レスポンス競技(SERC)」の制限時間は 90 秒で行う。
 - ① SERC 選手については、大会 2 日目/5 月 21 日(日)午前 9 時 20 分までに必ず招集場所である 1 階選手控室で受付をして待機すること。
 - ② SERC 競技補助員については、5 月 21 日(日)、午前 7 時 00 分に競技役員控室に集合すること。ともに時間厳守とする。
- 5) キャップについて
【プール競技】

チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。

【SERC】

チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。また、SERCにおけるチームリーダーは主催者側で準備するパトロールキャップを着用すること。

- 6) 「200m障害物スイム男・女」「100mマネキントウ・ウイズフィン男・女」「50mマネキンキャリー男・女」「ラインスロー男・女」「100mレスキューメドレー男・女」「100mマネキンキャリー・ウイズフィン男・女」「200mスーパーライフセーバー男・女」は、タイムレースで行う。
- 7) 決勝進出者は、会場ロビーの公式掲示板に掲示する。
- 8) 選手のウォーミングアップおよびクールダウンは、ダイビングプールにて競技役員（または掲示板）の指示に従って行う。
- 9) チーム種目のオーダーに変更がある場合は、チーム種目オーダー表を当該競技種目開始 20 分前までに選手招集所にいる招集員に提出すること。
- 10) レスキューチューブは、赤いチューブと黄色いチューブのどちらでも使用可とし、スタート前にレスキューチューブを選ぶことができる。
- 11) チーム代表者はエントリー標準タイムについて再度確認すること。
エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示すもので、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイムを突破していることが条件です。エントリー標準タイムから著しく遅い（目安；①エントリー標準タイム+10% ②体力不足によるDNF）場合、当該競技者のチーム代表者に対して事情確認をさせていただきます、本大会の他の種目の出場停止、及び次年度の本大会（第 31 回大会）の全種目の出場停止を、通達する場合がございますのであらかじめご承知おきのほどお願い申し上げます。
チーム代表者の方は、各選手がエントリー標準タイムを突破しているかどうかのご確認お願いいたします。
- 12) 当日、出場する種目の棄権が決まった場合、棄権申請用紙をマーシャル（招集員）に提出しうえ下さい。
- 13) リレーオーダー用紙・棄権申請用紙について
- 14) 競泳システムの説明

3. SERCワーキンググループより

・競技補助員の方へは「5月21日（日）昼食」を支給させていただきます。

4. 競技運営・審判委員会より

5. 質疑応答

6. その他 お知らせ